

平成 29 年度

事 業 報 告 書

特別養護老人ホーム梨花の里  
梨花の里ホームヘルプステーション

# 平成29年度特別養護老人ホーム梨花の里事業報告

## 1 事業内容

特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設） 定員60名  
短期入所生活介護（空床利用型）  
介護予防短期入所生活介護（空床利用型）

## 2 運営方針及び事業目標について

平成29年度は、昨年に引き続き地域貢献活動と施設全体ケアの発展を重点目標として事業を行った。

地域貢献活動については、施設を開放して行っている地域の方の体操教室を毎月2回、計23回（2月は施設のインフルエンザ流行により中止）行った。参加人数は、平均12名。（最高で16人）昨年の平均16人、最高20人と比べると参加者が減少している。理由としては、体調不良や家庭の事情等による。山口県老人福祉施設協議会の地域部門での事例発表では、この体操教室の開校に向けての課程を発表。発表については参加者にも意見を聞いたり、試写をしたりと一緒に発表を作った。その結果、島根県で行われた中国地区老人福祉施設研修大会に発表が推薦された。参加者の方へも報告し、とても喜ばれた。

豊北町の居宅介護支援事業所・豊北地域包括支援センターの勉強会では、生活相談員を派遣し、特養と養護について入所の手順や施設の利用料金や実際の生活等について説明。参加者からは、「実際に思っていた、以前聞いた内容と違い、とても参考になった」「地域にもその情報を必要時は発信していこう」との感想があった。豊北福祉会の事業・事業所のことについてしっかりと最新情報、考え方を伝えることができた。

施設全体のケアについては、開設以来行っている科学的介護と入居者の方の楽しみ、その人らしい生活の支援を継続した。

食事については、管理栄養士、調理員、介護職員、看護職員が共同して、入居者一人一人の状態に合わせた食形態、食事量の提供が継続できた。バイキング料理や季節毎の献立、昨年到现在年間を通して実施した。食事は、年2回アンケート調査を入居者へ実施しており、また、その都度管理栄養士が入居者へ回ったりして聞き取り等を行っているが、皆さんから「楽しみ、美味しい」という感想を多くいただいている。

運動については、機能訓練指導員（理学療法士資格）を中心に入居者の皆さんに応じた個別の機能訓練計画を作成し実施した。また、今年度は各階を回り、そこにおいて機能訓練指導員の指導のもと、風船バレーなどの運動を介護職員と共同して楽しい雰囲気で行えた。

認知症ケアについては、施設内研修の実施やケアプランの中で症状をとっていくサービス内容を入れ込み、実施をしていった。施設として取り組んでいったが、理論や対応が難しいという職員もあり、来年度の課題である。

「施設で最期を迎えたい」と思っている入居者の看取りを行った。病院入院していたが、最後は施設でということを受け入れをして、約1カ月行った。その間、医師と看護職員、介護職員、調理員、生活相談員等がしっかりと連携できた。付き添いをされた家族からは、『ここで良かった』との言葉があった。

労働災害等を防ぐ目的で設置している安全衛生委員会では、安全衛生管理者を中心に、統括安全衛生責任者（施設長）以下各職種代表者が集まり毎月現状の確認や対応策等を議論し、産業医の先生と協力しながら従業員のメンタルヘルスにも積極的に取り組んだ。

医療面については、今年もインフルエンザが冬期に入居者・職員と発生し対応をした。看護師を中心に、生活相談員・事務職員は家族・面会者対応（面会謝絶等の対応の周知活動）、介護職員・調理員は消毒や身体介護・栄養補給等をそれぞれがしっかりと連携対応した。終息まで1カ月かかったが、それ以降も地域の発生状況の情報収集をしながら3月末まで警戒体制を継続した。

入所申し込みについては、待機者の数は減少傾向である。新規入居申込者は年間で25名（昨年度は27名）。待機中に特養等に入所されていたり、退院の見込みがないなどの理由でキャンセルされる方も依然多く、実際に入所した方を除くと待機者は33名（昨年度末39名）である。空床も今年度多く、年度末時点で4床となっている。これは、申込者が少なかったこと、退所者が開設以来最多の22名であったこと、また、老健に入所して入所を待つと順番だけ残す方もおり、入所に繋がらない方も多くいたためである。待機者、申込者の確保が引き続きの課題として残った。

### 3 介護福祉施設入所状況について

#### (1) 要介護度別入所者延べ人数

	要介護 1(日)	要介護 2(日)	要介護 3(日)	要介護 4(日)	要介護 5(日)	合計(人)	平均(人)	利用率 (%)
H28年度	0	395	8,975	5,540	5,198	20,108	55.0	91.8
H29年度	274	61	7,759	7,436	4,005	19,535	54.9	89.1

#### (2) 入所状況（平成30年3月31日現在）

入所前地域別	男性(人)	女性(人)	計(人)
豊北町	10	40	50
豊浦町	1	2	3
豊田町	0	3	3
その他	0	0	0
合計(人)	11	45	56

#### (3) 年齢別の状況（平成30年3月31日現在）

年齢別	男性(人)	女性(人)	計(人)	割合(%)
~69歳	3	0	3	5
70~79歳	1	1	2	4
80~89歳	5	18	23	41
90~99歳	2	25	27	48
100歳~	0	1	1	2
合計	11	45	56	100

最高年齢  
男 94歳  
女 106歳  
最低年齢  
男 59歳  
女 74歳  
性別平均年齢  
男 80.4歳  
女 89.5歳  
平均年齢  
87.7歳

(4) 入退所の状況  
退所

No.	退所日	退所理由
1	平成 29 年 5 月 10 日	長期入院
2	5 月 10 日	長期入院
3	5 月 14 日	他特養入所
4	5 月 16 日	死亡 (施設)
5	5 月 18 日	死亡 (病院)
6	7 月 4 日	長期入院
7	8 月 3 日	死亡 (病院)
8	8 月 25 日	死亡 (施設)
9	9 月 5 日	死亡 (病院)
10	9 月 7 日	死亡 (病院)
11	9 月 10 日	死亡 (病院)
12	9 月 29 日	長期入院
13	10 月 2 日	死亡 (施設)
14	10 月 3 日	自宅
15	10 月 24 日	長期入院
16	10 月 28 日	死亡 (施設)
17	11 月 21 日	死亡 (施設)
18	11 月 27 日	死亡 (病院)
19	12 月 18 日	死亡 (施設)
20	平成 30 年 1 月 6 日	死亡 (施設)
21	1 月 30 日	長期入院
22	3 月 22 日	死亡 (病院)

入所

No.	入所日	待機場所
1	平成 29 年 4 月 1 日	有料老人ホーム
2	5 月 31 日	自宅
3	6 月 1 日	自宅
4	7 月 3 日	老人保健施設
5	7 月 5 日	自宅
6	7 月 13 日	病院
7	8 月 1 日	自宅
8	8 月 14 日	老人保健施設
9	9 月 12 日	病院
10	9 月 13 日	老人保健施設
11	10 月 12 日	養護
12	10 月 18 日	老人保健施設
13	11 月 24 日	病院
14	11 月 29 日	グループホーム
15	12 月 1 日	病院
16	12 月 4 日	自宅
17	平成 30 年 1 月 19 日	病院
18	1 月 30 日	病院
19	2 月 27 日	有料老人ホーム

## (5) 日常生活の状況(平成30年3月31日現在)

区分		男性(人)	女性(人)	計(人)	割合(%)
食事	自立	9	22	31	56
	一部介助	1	7	8	14
	全面介助	1	16	17	30
排泄	自立	0	0	0	0
	一部介助	9	23	32	57
	全面介助	2	22	24	43
入浴	一般浴	5	15	20	36
	リフト浴	2	7	9	16
	特浴	4	23	27	48

## (6) 給食の状況(平成29年度)

## ア 栄養量等の状況

区分		エネルギー(Kcal)	材料費(給食1日単価)
1日当たりの平均 栄養量及び給食単価	29年度予定	1,400	680円
	29年度実績	1,420	685円

## イ 保存食の状況

保存時間	336時間	保存方法	-20℃以下冷凍保存
------	-------	------	------------

## ウ 食事時間と検食

区分	食事時間	検食時間	検食者
朝食	7:30	7:15	当直者
昼食	12:00	11:30	介護職員
夕食	18:00	17:30	介護職員

## 4 平成29年度に行った主な行事

行事名	実施月	内容
豊北吹奏楽団 定期演奏会	4月	豊北生涯学習センターにて豊北吹奏楽団の演奏を楽しんだ。
滝部小学校 運動会見学	5月	入居者と共に、運動会を見学、参加して過ごした。また、3月には卒業生にお祝いとして施設からノートをプレゼントした。
春外出	5月	だるま堂等に入居者と共に外出し、買い物と食事を楽しんだ。

家族会	6月	入居者と家族と意見交換を行い、その後は喫茶で入居者、家族と一緒に過ごされた。
七夕	7月	豊北こども園園児と七夕の祝いを行った。
お子様参観日	8月	職員の子供さんを招待し、仕事の見学や福祉用具、喫茶の体験などを行い、特別養護老人ホームを知っていただいた。喫茶では入居者と一緒に飲食し、楽しい一時を過ごしていただいた。
敬老会	9月	アスパアと合同で地域交流スペースにて来賓を招いて記念品の贈呈、お祝いの演芸を舞踊ボランティア(藤由会)により行った。
秋外出	10月	各階で回転寿司、リフレッシュパーク豊浦、だるま堂等へ外出し、買い物と食事を入居者と共に楽しんだ。
豊北こども園 運動会見学	10月	入居者、職員が運動会に参加をして楽しい時を過ごした。
梨花の里運動会	10月	雨天のため入居者と職員とで室内で運動会を開催した。
下関市老人福祉施設 交流演芸大会	10月	菊川アブニールでの演芸大会に参加し、演芸を鑑賞して一時を過ごした。
ほうほく文化祭	11月	生涯学習センターに行き、豊北吹奏楽団と豊北高校吹奏楽部による合同演奏会を楽しんだ。
滝部小交流会	11月	滝部小学校4年生が来所し、特養の機能・役割を知ってもらい、児童の考えた高齢者との関りの実践を通じて福祉への理解を深めた。
クリスマス会	12月	豊北こども園園児の遊戯を見たり、プレゼントを渡したりと交流を図った。
クリスマス バイキング	12月	調理員が主体となって巻き寿司、サイコロステーキ、グラタン、ケーキ等のバイキングを行い、入居者と一緒に食事を楽しんだ。
餅つき会	12月	入居者と正月用の餅をつき、一緒に餅入りぜんざいを食べた。
新年会	1月	カルタ取りやおみくじを引いたり各階毎に実施し、入居者の皆さんにとっても好評だった。
2階食事作り	2月	料理の楽しさを思い出し、気分転換に繋げることをしようと2階介護職員が計画し、調理員と協力し、入居者と一緒に作って食べた。
ボランティア 意見交換会	3月	喫茶ボランティアと喫茶の運営や来年度の運営方針、施設内のケアについて意見交換を行った。
ひな祭り	3月	喫茶ボランティアの方に協力いただき、地域交流スペースでお雛様を見ながらお茶菓子と抹茶を飲んで一時を過ごした。
お楽しみ会	3月	豊北こども園園児と交流会を行い楽しんだ。また、一年のお礼にカップケーキをプレゼントした。
入居者職員 懇談会	8、12、3月	各ユニット毎に2度、全体会として1度行い生活向上の意見交換を行った。
消火避難訓練	5月、3月	日中と夜間想定、災害想定のお知らせ・消火・避難訓練を、豊浦西消防署豊北出張所の協力のもと行った。

喫茶	毎月第1、 第3水曜日	ボランティア主体で行った。
地域体操教室	毎月第1、 第3木曜日	地域の方達の介護予防運動教室の場所として、地域交流スペースを開放、利用して頂いた。
美容の日	毎月	地域の美容組合の方が入居者の美容を行った。9月は敬老のお祝いで無料での実施だった。
食事作り 弁当づくり	毎月	調理員が中心となり入居者の希望を聞きながら作れるメニューを考えて入居者・職員と昼食を作り一緒に食べた(5、8、11月)また、季節ごとにメニューを考え、花見弁当、運動会弁当、炭火でさんまの塩焼き、ラーメンなどを行って、入居者の方と一緒に食べた。
法話	4、6、8、 11、12、3 月	豊北町内、豊浦町内の浄土宗の副住職6名の方により1年間行った。

## 5 その他の事業

### (1) 短期入所生活介護事業及び介護予防短期入所生活介護(空床利用型)

	要支援 1(日)	要支援 2(日)	要介護 1(日)	要介護 2(日)	要介護 3(日)	要介護 4(日)	要介護 5(日)	合計 (日)	利用率 (%)	空所に対する 利用率(%)
H28 年度	7	40	249	210	209	36	29	780	3.5	43.5
H29 年度	10	0	83	125	280	16	0	514	2.3	21.7

### (2) 要介護認定調査業務(下関市委託業務)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

## 6 家族等の面会状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	1日 平均
人数	308	308	233	248	297	269	251	250	337	342	182	291	3,316	9.0

※延べ人数

7 職員体制について(平成30年3月31日現在)

	現員(人)	平成29年度中における異動等		
		退職者(人)	採用者(人)	異動者(人)
施設長	1(1)			
事務職員	3		1	1
生活相談員	1(1)			
看護職員	3			
機能訓練指導員	1			
介護職員	26(4)	1	1	
管理栄養士	1			
調理員兼務介護職員	2(2)			
介護支援専門員	(4)			
常勤パート(介護職員)	4			
〃 (調理員兼務介護職員)	4			
臨時パート(配達員)	1			
〃 (看護職員)	1			
〃 (介護職員)	8(1)		2	
〃 (介護補助員)	1		1	
〃 (介護支援専門員)	(1)			
〃 (調理員兼務介護職員)	2	1		
嘱託医師	1			
合 計	60(9)	2	5	1

( ) の数字は他職種、アスピアとの兼務を指す

8 職員の会議

会議名	開催月	内容
職員会議	4、6、8、10、12、2、3月	連絡事項や研修の複伝、施設内研修を行った。
運営会議	毎月	施設経営、運営に関する会議を行った。
リーダー会議	毎月	行事確認、給食、入居者処遇会議等を行った。

ケアプラン会議	毎月	各職種が集まり介護力向上の理論を盛り込んだケアプランの検討を行った。
質の評価検討委員会	5、9、3月	梨花の里独自のサービス自己評価を作り、サービスの質の向上のために活動した。
安全衛生委員会	毎月	労働中の危険及び健康障害の防止等について検討した。
ケア向上委員会	隔月	職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善についての話し合いを行った。

## 9 各種委員会の活動

委員会名	開催月	内容
事故発生・防止委員会	6、9、12、3月	事故予防等の検討を行った。
感染症対策委員会	6、9、12、3月	食中毒やインフルエンザ等の感染症予防等の計画や指針の策定を行った。
身体拘束等防止・監視委員会	毎月	身体拘束の事例の検討等を行った。
褥瘡対策チーム	毎月	入居者の褥瘡の状況について確認し、対応策の協議、検討を行った。
食事内容の検討会議	5、7、9、11、1、3月	食事内容の検討を行った。
医療的ケアの安全対策委員会	5、6、8、11、12、3月	痰の吸引、嚥下状態等について確認・協議した。

上記のとおり各種委員会を設置。その中でそれぞれの内容の検討、マニュアルの整備、見直し等を通して入居者の生活の質の向上、サービスを提供する各種職員の資質の向上に努めた。

## 10 施設外部研修会（参加した主な研修会）

	施設長	事務職員	生活相談員	看護職員	介護職員	専門員	介護支援指導員	機能訓練	管理栄養士	介護職員兼調理員兼	合計
山口県老人福祉協議会運営研修会	1										1
認定調査員現任 I 研修						1					1
施設力向上研修会					1						1
転倒予防リハビリテーション研修会							1				1
山口県老人福祉施設協議会相互研修会			1		2						3
中国地区老人福祉施設研修大会			1								1
老人福祉施設新任職員研修会					1						1

認定調査員現任Ⅱ研修						1				1
介護支援専門員更新研修						1				1
改正育児・介護休業法とハラスメント防止のための説明会		1								1
山口県経営協セミナー	1									1
老人福祉施設給食担当職員研修会								1		1
社会福祉法人会計研修会		1								1
高齢者施設感染対策研修				1	1					2
社会福祉法人等中堅職員研修会					1					1
認知症介護基礎研修					1					1
社会福祉法人会計研修会(現任研修)		1								1
メンタルヘルス研修会		1								1
山口県老人福祉協協議会設 長研修	1									1
移動支援等人材育成研修会							1			1
安全管理者講習		1								1
特定給食施設等研修								1		1
社会福祉法人の会計処理再 チェックセミナー		1								1
社会福祉法人会計研修会 「決算実務研修」		1								1
平成29年度制度改革対応 セミナー	1									1
平成30年度介護報酬改定 説明会	1		1							2
合計	5	7	3	1	7	3	2	2	0	30

介護支援専門員は介護職員と兼務